



さくしん

(校長室だより 16)

H 2 1 年 8 月 3 1 日

下氷鉋小学校

校長 大内 徹

晩夏の候 保護者の皆様にはご健勝のことと存じます。二学期が始まり、二週間となりました。長野市でも新型インフルエンザが流行し始め、近隣でも学級閉鎖をしている小学校も出て参りました。本校は大丈夫かと、欠席状況の記された職員室の黒板を見ながら心配している毎日です。9月19日(土)には大運動会も予定されており、インフルエンザが流行し始めたかどうかと本当に心配であります。しかし、心配したところでやってくるものは来るし、致し方ないのか・・・極力予防に努めるしかないと覚悟しております。昨日は衆議院選挙がありましたが、ウイルスがどこに潜んでいるかもしれないと思い、朝一番でマスクをして投票を済ませて参りました。ウイルスは眼に見えないだけに本当に困りものです。校内でもできるだけ予防措置は講じていきますが、各ご家庭でも人混みの中を出歩く際にはマスクを着用するなり、帰宅後は手洗い、うがい等を励行するなど予防に努めていただければ幸いです。

インフルエンザというと、世の中はこのように大騒ぎなのでありますが、インフルエンザのように、影響力を及ぼすものは他にもたくさんあるのです。私たち人間は、直接生命に関わってこなかったり、損傷を及ぼさなかったりすると、慌てなかったり、無関心だったりするものであります。インフルエンザとは *influenza* のように英語では綴りますが、*influence*(インフルエンス：人、事に対する影響、作用、感化力の意味) という英語の派生語でもあります。老若男女を問わず、私たちは常に何かの影響を受けております。常識をもった大人なら防げるものもありますが、心も体も発達途上にある子どもには防ぎきれぬものが周りには沢山あるように思えます。有害図書(メディア)、有害携帯(インターネット)サイト、携帯メール中毒、等々、知らず知らずのうちに社会を汚染したり、青少年の心を蝕む「ウイルス」や「種子」が私たちの周囲に舞ってはいるのでしょうか。そのような視点で日々子ども達が触れているものの影響力や安全性について大人の私たちがチェック機能を果たしていく必要がありはしないかと切に思っております。

先週の火曜日、本校にカンボジアから日本に二ヶ月滞在の21歳の青年ソピアリットさんがおいでになりました。三学年の児童の皆さんと交流会を持ちました。フリージャーナリストの内山次郎さんや三学年のお母様方のご協力で、素晴らしい2時間となりました。彼はプノンペン大学で日本語を学んでいる学生です。カンボジアの自然、生活や文化について日本語だけでお話して下さいました。アルバイト等で日本人と接する機会はあるようですが、彼のとても上手な日本語に感心しながら聞いておりました。3年生の一人が「二十歳になってどういう気持ちですか」と質問しました。「大人になったようでうれしかったけど、まだまだ勉強が足りない。子どもの頃に頑張らなくて勉強が足りなかったことを大変悔いている」と答えていました。学業に専念できなかった状況もあったのではないかと考えると、とても謙虚で控えめな答え方でした。学校が不足しており、現地に学校をつくらうとしている日本人もいるようなカンボジアの状況ですが、「学び」に対して大変まじめだと感じました。「将来は食品関係の会社を興して社長さんになりたい」と夢を語っておりました。休み時間になっても、3年生の子ども達がソピアリットさんのところに寄っていつかは楽しそうにいろいろと話しかけておりました。その時間、私が子ども達にも話したのですが、言葉や文化の違いはあっても、同じ人間である限り共通している部分がかかり

あるはずですが（おそらくは80～90%）。多少の違いはあっても、「仲良くなりたい」「わかりたい」という気持ちで互いに接していけば必ず仲良くなれるし、わかり合えることでしょう。私自身も初めてのクメール語で、「チョムリアップ・スーオ」（こんにちは）「オークン」（ありがとう）ジャンケン「パウ（グー）」「シン（パー）」「ソン（チョキ）」をはじめ他にも幾つかクメール語の言葉を教えていただき、使ってみて、新しく言葉を習う楽しさを久しぶりに味わうことができました。また、子ども達にとって有意義で充実した時間になるようにと願って、模造紙に大きく、字などを書いて当日使用するものの準備やその時間の進行のお手伝いをして下さるお母様方がいらっしゃることに對しても大変嬉しく、心強く感じました。

さて、今朝はプールじまいの式がありました。三人の児童が今シーズンの水泳を振り返って、感想を発表してくれました。「きれいな水の中に顔をつけることができるようになったよ」とか「練習しているうちにクロールを25M泳げるようになった。一度泳げるようになったら、どんどん泳げるようになりました」「平泳ぎにも挑戦しました」等、自分のできなかったことが練習を通してできるようになってきた様子が伝わってきました。このような進歩は子ども達にとって大変大きなこの一夏の成長なんだと大変嬉しく思いました。水泳の学習を通してついた自信が、今後の他の学習や活動にも波及していくものと思います。感想を発表してくれた三人の児童だけでなく、全校の子ども達がスピードや距離、泳法は違っても、自分なりに泳ぎを深めているのだらうなあと喜ばしく思うとともに、泳ぎの得意でない私はうらやましさを覚えました。

現在、プールの入り口近くの学校花壇には、赤と白と紫のサルビア、黄色いのマリーゴールド、紫色のアゲラタムが互いの色を引き立てるかのように大変美しく咲いております。メイン花壇には本校の校章にある蛍がデザインとして取り入れております。夏休み中や放課後など、水くれをやっていた子ども達の姿が思い出されます。花をつけるまでには、育苗、土の耕し、施肥、水くれ、草取りなど、状況に応じた様々な手入れ・ケアが必要かと思いますが、そのような一つ一つのご苦勞に感謝しつつ、育てている方々の思いを汲み取りながら花を見ていると大変心が癒されます。日常の雑事に追われていると、ついつい道ばたに咲く花に目をやることさえ忘れてしまいがちですが、お時間がございましたら、ゆっくりと学校花壇をご覧になっていただければ幸いです。

学校帰りなのかわかりませんが、学校近くの休耕田に入って野球をしているお子様がいます。野球のボールが脇のお宅の庭に入り、育てている野菜やお花を傷めているという苦情が学校に寄せられております。各家庭でもお子様の様子や、帰宅後どのように過ごしているのか状況をつかんでいただき、適切なご指導をいただけるとありがたいです。このようなことがある度に、土や泥にまみれながら自然の中をかけずりまわって遊んでいた小さい頃のことが思い出されます。ある時、いたずら子の私が近所で遊んでいて大変なことをしでかして、人様にご迷惑をおかけした時に、おやじが畳に頭をすりつけて謝っていた姿が今でも頭から離れません。子どもは過ちを繰り返しながら育っていくものですが、その都度、どのようなことがまずいことで、人様に迷惑をかけることになるのか、周囲の大人が教えてやらねばなりません。いたずらや望ましくないことをやっている子どもに気づいた時には、当該保護者に連絡するなり、様子を見ながら、注意指導するなり、大人が見過ごしていかないことが本当の思いやりかと思えます。

明日からいよいよ九月に入ります。暑さがぶり返すようにも聞いております。凡事徹底により、規則正しく落ち着いた生活をさせ、充実した二学期の生活ができるようお願い申し上げます。

トマトとメロン

トマトにねえ
いくら肥料やったってさあ

メロンにはならねんだなあ

トマトとね
メロンをね
いくら比べたって
しょうがねんだなあ

トマトより

スマート SMART Stay Seated Having Materials Respect Others Attentions Try
地位 d さな

価値の多様性 何をやってもいいような いかなる言動に対するいいわけ 理由付け 絶対的なものがあるような気がする 他人の迷惑になっていないか 他人のプライバシーへの侵入はないか

子どものメール 小学生でも携帯をもっている 持たせない 一長一短

メール 返信に追われる姿 極端な例? 電車やバスに乗り合わせると 周囲の人々に目をやると必ずとっていいほど 携帯画面に目をやっている 携帯がお友達 携帯の奴隷と化していないか と言っている私も 左手の親指だけでメールの早撃ち パソコンも A ~ z まで 3分で 20回はキーをたたける私 一方 漢字を忘れる 情けない 指を使わないといけない 脳のどこかが退化しているような心配

高校時代は電気科 大学は教育学部の英語科 奇妙な人生を歩んできた

昇降口前の庭の樹木から落ちての骨折 悩む 怪我をしながら育っていく子ども達

かく言う 自分も 小5のころ 家の前の電車の鉄橋を歩いて、走って渡る途中 踏み外して 橋桁の間から(?)落ちて気を失った 苦い痛い思いをした経験 今でも左親指のつけねあたりに負傷の痕跡 見る度に 小学校時代 やんちゃな自分を思い返す 当時、鉄橋を渡ってはいけないなどと言われたことはなかった 今では大きな問題となりそうな行為である 時効? もっとも全盲の親父の知る所ではなかった

「携帯なんかなくても友達はできるよ」 サマーセットモードであったか 電話に出ることのおっくうさ

困るのはこちらの都合に関係なく、かかってくる電話 メールである せいぜい毒されぬように距離をおいて携帯やメールとつきあっていこうと思っている マナー モラルの低下

大人の世界も高校生のそれと変わらぬ状況があると伝え聞く おっぱいをやりながらメールを打っている母親の姿を見たことがある おっぱいでお腹かが満たされても、心の中は満たされないだろうな 食卓 食事のあとのお茶 ゆっくりと語りあう時間 face to face (相手の顔を直に見ながらの会話) 大切にしたい 第三者、他の人にかかわる情報 (事実に基づいた情報ならまだまし) が一人歩きしていないだろうか

無責任に 他家のお子さんのことについて、あーだこうだと話さぬように心がけてきている
たとえ、我が子のお友達のことでも知っていることがあっても、そのお子さんや親御さんが聞いて
不愉快に感じたり、切なく思ったりするようなことは絶対に話さぬように、たとえ聞いても、他
の方に伝えないように、うわさ話的には扱わないようにと心がけてきている 夫婦げんかはあつ
ても、そのことだけは少なくとも一致している。

一日一刻 小さな一生 内なる自分をしっかりと耕さねばならぬ

今年は戸隠の山でもタケノコが例年より豊作 行くたびにタケノコを持ち帰った
キュウリやささぎ等 我が家の菜園にも恩恵をもたらしている 恵の雨 幸い 6年生の海の
学習の日には雨が降らなかった 合間を縫って行ってきた感じ しかし常にお天気は自分の
味方をしてくれない 今日には○○があるから晴れてほしい と願うのは勝手であるが 時に
意地悪をしておなるいるかのごとく雨降り 自己中の私がある時にはなんで降るの？ そ
のような自分自身を戒める雨なのかもしれない うまくいくこと うまくいかぬこと 空の
天気と同じ そのように考えられるようになってきた私

先日の祖父母参観日には大勢の方においでいただき、また校長講話も一生懸命耳を傾けて聞いて
下さり本当にありがたく思いました